

台風の影響により競技日程を変更する場合の対応について

2017年9月13日

九州ハンドボール協会

「平成29年度 第69回日本ハンドボール選手権大会 第3回 九州ブロック予選」において、台風の影響により競技日程を変更する必要がある場合の対応については、以下に基づき取り進めることとする。

1 競技日程を変更する場合

(1) 基本方針

- ① 競技開始日（9月17日）の前倒し及び最終日（9月18日）の順延はしない。
- ② 大会期間中において、関係者間の合意を得た上で、競技日程（試合開始時刻・試合終了時刻・試合数・競技時間等）を変更することがある。
- ③ 競技の実施にあたっては、宿舎から競技会場間及び競技会場周辺の交通機関の状況等、大会関係者（チーム関係者・競技役員・競技補助員・観覧者等）の安全が十分に確保されていることを十分に確認する。
- ④ 競技の開始・終了時刻の変更にあたっては、施設・競技関係者（役員・補助員等）の対応についても十分に配慮する。

(2) 選手団の会場地入りに支障が出ると想定される場合

原則として、全チームが揃ってから競技を開始する。

ただし、会場地入りが遅れる選手団の状況を勘案し、関係者間の合意の上、全チームが揃っていなくても競技を開始する場合もある。

(3) 選手団の帰路における移動に支障が出ると想定される場合

競技の開始・終了時刻を変更する等の対応により、競技を終了した選手団が交通機関の運行（運航）している間に帰路につけるよう可能な限り配慮する。

2 具体的な対応の決定手順と周知方法

九州ハンドボール協会と開催地（大分県ハンドボール協会）において協議を行い、天候・台風の予想進路・交通機関の状況等を勘案し、対応策を策定する。

対応策や変更に関する通知は、開催県（大分県ハンドボール協会 事務局）より、各参加チーム・該当チーム・関係役員等に連絡するとともに、九州ハンドボール協会と大分県ハンドボール協会の各ホームページに掲載する。